

■インドネシア：第2次クラッシュプログラムの方針を転換

エネルギー鉱物資源省（MEMR）は2012年1月23日、第2次・クラッシュ・プログラム（2nd Crash Program、2010～2014：非石油系発電所を1,000万kW建設するプログラム）の方針を価格から品質重視に転換すると発表した。同省は、数カ所の発電所建設事業を入札価格が低い中国企業に発注したが、工期の遅れのほか、発電所の品質管理に問題があるため、今後の入札では工程管理や品質管理を重視するとしている。同省の関係者は「これまでに日本企業などに発電所の建設を発注した経験があるが、中国企業は品質を重視する日本企業とはまったく異なっている。今後、中国企業側に改善が見られなければ、入札対象から除外することを検討する」とコメントしている。